

平成 29 年度 南多摩保健所難病対策地域協議会 議事概要

開催日時	平成 30 年 2 月 15 日（木曜日） 午後 2 時から 4 時まで
開催場所	東京都南多摩保健所 講堂
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 避難行動要支援者の災害時個別計画について 2 南多摩保健所における難病対策の取組状況について 3 東京都における難病対策 4 その他
意見等	<p>【名簿について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備は少しずつ進んでいる。 ・災害時にも提供を同意していない患者がいるため、一律の対応は困難。 <p>【平常時対策として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時事前準備パンフレットを作成した。 ・災害伝言ダイヤル等の訓練を行っている。 ・名簿登録について、対象者については引き続き声かけをする。 ・行政の限界を知り、自助力を高めなければいけない。 ・訓練をルーチン化すること、繰り返すことが大切。 <p>【発災時の情報伝達】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所準備情報を、電話やメール発信も同時に対応している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物品は準備できても、運用の仕組みづくりが大切。 ・日ごろから関係者が協働して訓練を行う必要がある。 ・関係機関の連携がないと対応できない。 ・発電機やバッテリーは、メンテナンスをしていないといざという時に使えない場合がある。 ・移動が大変なため、災害の事前情報があっても、いつ避難するのか判断がむずかしい。 ・希少疾患であると、薬の入手も困難